

第1回豊橋市教育課題検討会議 議事録（要旨）

平成25年8月9日（金）15:00～

於：豊橋市役所 東86会議室

- 1 出席者 委員 稲田 充男、白井 正康、岡本 賀生、市川 英輝、笹野 壽、堀米 幸子
大久保 貴子、羽柴 留美、鈴木 恵美子 ※敬称略
- 事務局 加藤 正俊（教育長）、加藤 喜康（教育政策課長）、宮崎 正道（学校教育課長）、
山本 誠二（教育政策課課長補佐）、山田 浩一（教育政策課指導主事）、
酒井 憲一（教育政策課指導主事）、上野 喜一郎（学校教育課指導主事）、
柳瀬 敏紹（教育政策課主査）、大橋 史明（教育政策課主事）

2 議 事

（1）委員・事務局 自己紹介

（2）教育長あいさつ（要旨）

・豊橋市では、幼保・小の連携を推進するとともに、義務教育から高等教育へのスムーズな移行という観点から「小中高連携教育推進委員会」を立ち上げ、研究を進めている。また、平成19年度に指定を受けた「英語特区」により、小中にわたる英語教育のカリキュラムが確立した。さらには、小中9年間を見通した「キャリア教育」のカリキュラムをもとに、各教科・領域において「小中9年間の生き方教育」を推進している。

・このようにカリキュラム上、小中の連携ができている豊橋市の教育において、「豊橋市にふさわしい小中一貫教育は何か」を2年間にわたって整理してほしい。

（3）委員長・副委員長選出

・市川委員の推薦により、委員の互選で稲田委員が委員長に選出される。

・稲田委員長の指名により、白井委員が副委員長に選出される。

（4）豊橋市教育課題検討会議設置要綱（加藤 教育政策課長より説明）

（5）本会のテーマ設定（加藤 教育政策課長より説明）

（6）今後のスケジュール（加藤 教育政策課長より説明）

・小中一貫教育は、教育課題解決のためのツールであり、目的ではない。豊橋市の教育において、何が課題なのか。量的、質的に分析して、次回の会議に資料を提示していただきたい。（委員）

（7）前芝小学校・前芝中学校における小中連携教育の取組紹介（学校教育課 上野指導主事より説明）

・小中一貫教育で、小と中が同じ目標を持つことは大切である。小と中で教員の目標が違うと子どもは戸惑う。ただ、教員の交流は負担が大きい。（委員）

（8）事前視察報告（教育政策課 山田指導主事より阿久比町、浜松市、引佐北部小中学校の視察説明）

・浜松市の取組は参考になることはあるが、それを推進すると教員の多忙化につながる。（委員）

（9）意見交換（各委員より）

・家庭教育の場面でも意識づけして取り組みたい。また、視察等で勉強していきたい。

・学力の高い子どもへの特別な教育機会提供や飛び級等の措置も考えてほしい。

・特色ある学校づくりという面から学校裁量に任せる部分と市全体で取り組む部分と立て分けて

ほしいが、「浜松マナー」など、将来にわたる取組には全市的に取り組んでほしい。

- ・私立と違い、公立には人事異動がある。教員が異動しても取組が持続するように、地域と連携した取組が必要となる。

- ・中学校では、落ち着いた雰囲気をつくるために、生徒に対して画一的な指導になり、これが小学校と中学校の「段差」につながっている。

- ・中学校には、家庭環境が違う子どもたちが風土の違う複数の小学校から入学してくるので、中学校の受け入れが大切になる。生徒指導など、潜在的なカリキュラムから取り組み始めるとよい。

(10) 事務局より（諸連絡）

- ・次回は10月31日（木）13:30開催